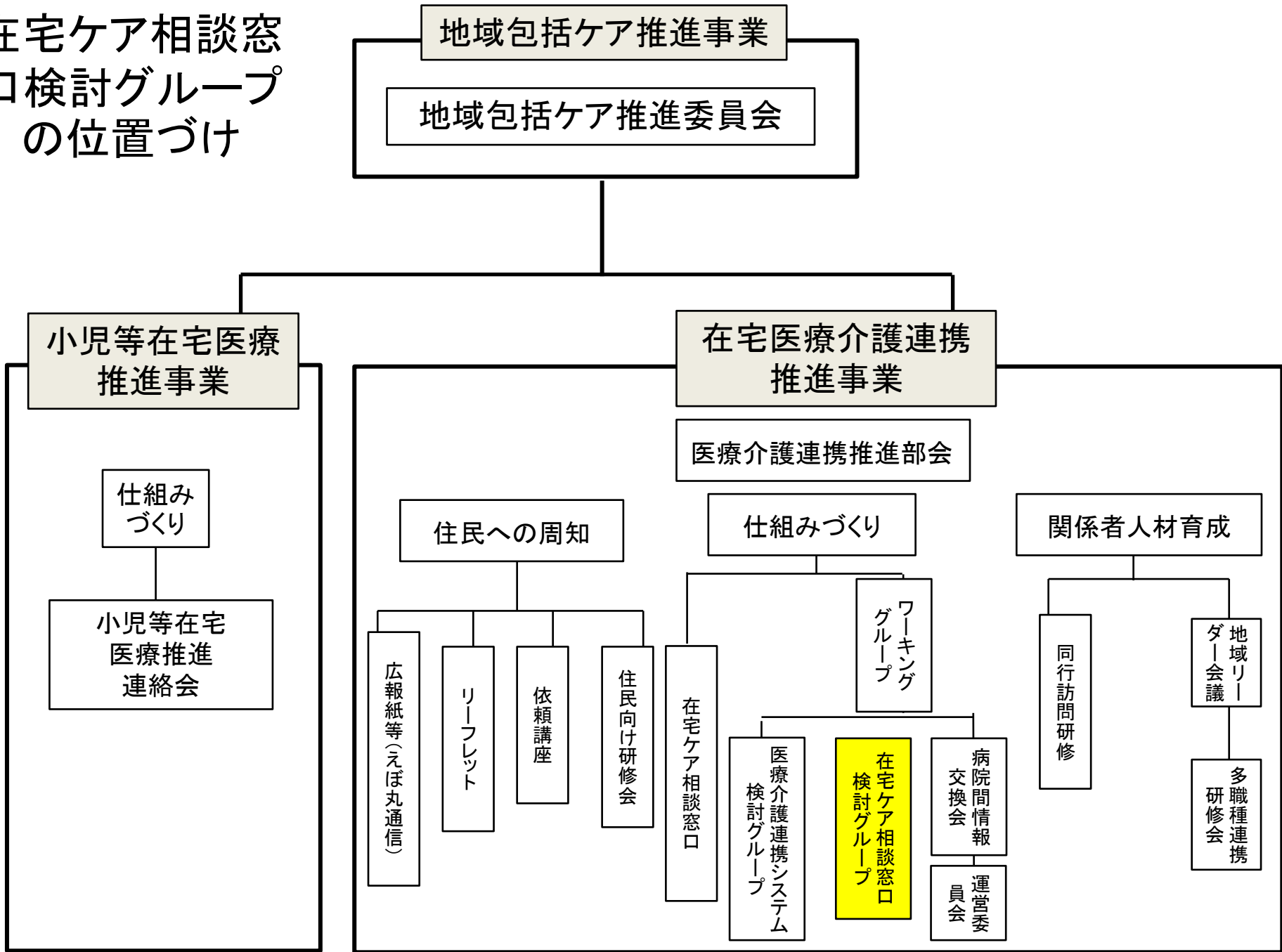


平成30年度在宅ケア
相談窓口検討グループ
上半期・取組み

報告者：大木教久



在宅ケア相談窓口検討グループの位置づけ



在宅ケア相談窓口検討グループの 平成30年度の課題及び検討事項

- ① 病院と在宅の連携に関する課題検討
- ② 在宅ケア相談窓口相談内容の
検証と課題検討
- ③ 人材開発育成に関すること 等

検討グループメンバー（敬称略）

氏名	所属機関	職種
大木教久	茅ヶ崎医師会	医師
佐藤貴之	茅ヶ崎医師会（眼科医会会員）	医師
松井新吾	茅ヶ崎歯科医師会	歯科医師
森川厚子	茅ヶ崎寒川薬剤師会	薬剤師
加藤將文	茅ヶ崎徳洲会病院	事務職
根岸浩子	寒川病院	看護師
田中洋	茅ヶ崎市立病院	医師
西村八重子	茅ヶ崎市立病院	看護師
河田美幸	あかしあ訪問看護ステーション	看護師
松本由美	さむかわ訪問看護ステーション	看護師
平本哲也	茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会ケアマネ部会	ケアマネ
高橋龍矢	寒川町介護サービス事業所連絡会ケアマネ部会	ケアマネ
三瓶利恵子	茅ヶ崎市包括支援センターあい	保健師
佐藤敬	寒川町包括支援センター	社会福祉士
吉武泉	市高齢福祉介護課	保健師
上山知栄	町健康・スポーツ課	保健師

平成30年度検討会開催実績

回数	日程	出席者人数
第1回	7月19日	15人
第2回	10月11日	13人
第3回	12月20日	
第4回	2月28日	

第1回検討会の概要(振り返り)

在宅ケア相談窓口の相談内容と在宅医療介護連携推進事業（ア）～（ク）の項目に沿って課題の抽出を行った。

Aグループ

- ICTについて運用が難しい。連携として不足はあまり感じていない
- かかりつけ医がないことが課題
- 介護の相談をどこにすればよいのか患者目線での対応が必要
- 個人情報について許可を取ることに二重三重にチェックをしている
- 病院との連携。病棟の関係者が在宅を知らないことが多い
- 市境の問題。市町を超えたシステム等

Bグループ

- 医療介護関係機関の一覧について、細かい情報がまだ分からない。そもそもそれが必要なのか
- 各団体に入っていないところの情報が手に入らない
- お互いに遠慮があり、他職種の理解ができていない
- ケアマネの質の向上
- 入院病床のある近隣市の病院との連携 等

第2回検討会の概要(振り返り)

第1回で抽出した課題の対策について検討を行った。(資料4-1)

項目	内容
課題1	医師会の体制について
課題2	歯科診療所について
課題3	薬局・薬剤師について
課題4	情報提供について
課題5	在宅医療への意識について
課題6	多職種連携について
課題7	専門職の能力アップについて
課題8	ケアマネと病院との連携

在宅ケア相談窓口検討グループ 今後の予定

- ①抽出された課題の対策の検討を進めていく。～次年度に向けて～
- ②在宅ケア相談窓口の相談内容の検証を進めていく。